

# 岡山県図書館横断検索システム

## Z39.50 岡山県目録プロフィール

第 1.3 版

平成 22 年 11 月

改版履歴

版数	更新日	頁	改訂内容	改訂理由	担当
1.0	2003-11-06		新規		鳥越
1.1	2003-11-21	5,6	レコードシンタックスとして「XML」を追加。	仕様見直し。	鳥越
1.2	2005-09-20	6,8	「XML 宣言を付与しない」を追加	追記	鳥越
1.3	2010-11-04	5,6	Bib-1 Use Attributes に「ISBN」、「資料区分」を追加 レコード構造仕様に「タイトルコード」を追加	追記	金野

## 目次

1. Z39. 50岡山県目録プロファイルに関して.....	4
1.1. 概要.....	4
1.2. ターゲット仕様.....	5
1.3. 返戻フォーマットに関して.....	6
1.4. 検索要件の補足.....	8
1.5. 性能要件.....	8
1.6. 補足.....	8

## 1. Z39.50岡山県目録プロフィールに関して

### 1.1. 概要

本仕様は、「岡山県図書館横断検索システム」(以下、横断検索システム)にて使用する Z39.50 のプロフィール仕様です。横断検索システムでは、本プロフィールに準拠した Z39.50Target の場合は、検索結果として返戻される目録情報を同定して一覧表示できます。

プロフィールには、必須条件と推奨条件があり、岡山プロフィールでは必須条件の全てを満たす必要があります。推奨条件は横断検索における検索精度を向上するために実装を推奨します。

## 1.2. ターゲット仕様

ターゲット属性	対応条件	条件
Services	init,search,present	必須
AttributeSet	Bib-1	必須
Bib-1 Use Attributes	4(Title),1003(Author),1018(Publisher)	必須
	21(Subject heading),20(Local classification), 31(Date of publication),※ 1031(Material-type(資料区分)), 7(ISBN(ISBN))	推奨
Bib-1 Relation Attributes	2(less than or equal),3(equal),4(greater or equal)	推奨
Bib-1 Truncation Attributes	1(right Truncation),2(left truncation),3(left and right)	推奨
Bib-1 Completeness Attributes	3(complete field)	推奨
QueryType	Type-1	必須
レコードシンタックス	SUTRS 又は XML	必須
エレメントセット	B、F	必須
文字コード	eucJP、SJIS、UTF-8	必須
その他	present サービスでのレコード取得件数では上限値を設けないこと。	推奨

※ 資料区分の検索キーワードは「0(図書)、1(雑誌)、2(AV)、3(学校支援資料)」とします。つまり、図書を検索する場合は、「1031(資料区分)が 0」で検索可能とします。また、図書、雑誌を検索する場合は、「1031(資料区分)が 0 または 1」で検索可能とします。

### 1.3. 返戻フォーマットに関して

- ・ SUTRS 又は XML のレコードシンタックスで下記フォーマットの返戻ができることを必須とします。
- ・ XML 形式でのレコード記述とします。
- ・ レコードは「1.3.1レコード構造仕様」の構造定義において「valid XML document」であることを必須とします。(但し XML 宣言は付与しないこと)
- ・ 機関毎に任意の詳細表示用項目を付加できるものとします。

#### 1.3.1. レコード構造仕様

階層 1	階層 2	階層 3	内容	エレメントセット
book			ルートタグ	B,F
	title		「書名(251A)」	B,F
	stitle (?)		「副書名(251B)」	B,F
	vol (?)		「巻次(251D)」	B,F
	vol_title (?)		「各巻書名(291A)」	B,F
	vol_number (?)		「多巻書名巻次(291D)」	B,F
	series_title (?)		「叢書名(280A)」	B,F
	auth (?)		「著者名(251F)」	B,F
	pub (?)		「出版者(270B、存在しなければ 770B)」	B,F
	date (?)		「出版年(100A)」、西暦半角数値4桁とする。	B,F
	isbn (?)		「ISBN(010A)」	B,F
	trc (?)		「TRC マーク番号(090A が”JLA”の場合、090B)」	B,F
	npl (?)		「日販マーク番号(090A が”NPL”の場合、090B)」	B,F
	jp (?)		「JAPAN/MARC 番号(090A が”JP”の場合、090B)」	B,F
	tilcod(?)		タイトルコード ※ 岡山県立図書館独自項目	B,F
	url		書誌詳細表示用の URL を記述する。「http://」からの完全な URL 記述とする。 例: <a href="http://www.oclc.city.okayama.jp/OKCLIB/servlet/search.detail_list?tilcod=1000000367153">http://www.oclc.city.okayama.jp/OKCLIB/servlet/search.detail_list?tilcod=1000000367153</a>	B,F
	libed (?)		図書館コード	B,F
	detail (?)		詳細項目開始タグ	F

		element(+)	@name	任意の項目名	F
				@name で指定した項目の内容	

※タグ名の記号の意味は「(?): 0回又は1回出現、(+): 1回以上出現、(\*): 0回以上出現、記述無し: 1回出現」。@は属性値を表します。

※内容の括弧内の記述は、相当する「総合目録共通フォーマット」(国立国会図書館提供)のフィールド識別子。

### 1.3.2. レコードサンプル

```

<book>
<title>岡山の歴史</title>
<stitle>人物でたどる日本史</stitle>
<vol>16</vol>
<vol_title>明治維新と岡山</vol_title>
<vol_number>第1冊</vol_number>
<series_title>歴史文庫</series_title>
<auth>山田太郎</auth>
<pub>日本歴史出版</pub>
<date>2003</date>
<isbn>0-123-45678-9</isbn>
<trc>99003873</trc>
<url>http://www.libnet.pref.okayama.jp/mokuroku/cgi/detail?id=10000</url>
<libed>100</libed>
<detail>
<element name="内容">西郷隆盛と岡山 山田次郎著</element>
</detail>
</book>

```

#### 1.4. 検索要件の補足

以下の要件を、検索要件とします。

No.	検索要件	条件
1.	検索キーワードとして渡された文字列を単語、分かち、ワード等に分解せず、そのまま全文検索ができること。	推奨
2.	Title(書名),Author(著者名),Publisher(出版者),Subject heading(件名)の項目への検索では、中間一致での検索ができること。	推奨
3.	Title(書名), Local classification(分類)、ISBN(ISBN)の項目への検索では、前方一致での検索ができること。	推奨
4.	Date of publication(出版年)の項目への検索では、範囲指定での検索ができること。	推奨
5.	記号(例:・ / ー)、欧米諸言語の冠詞(例:a an the)等、一般的過ぎる語(ストップワード)については、検索語に含まれていてもいなくても、検索に影響を与えないこと。	推奨
6.	漢字、カナとも、姓名の間のスペース、カンマのあり、なしにかかわらず検索できること。	推奨
7.	カナ検索の検索語において、濁点、半濁点、長音の有無、拗音、促音の区別は、検索結果に影響を与えないこと。	推奨
8.	欧米諸言語については、全角、半角、大文字、小文字の制約なく検索できること。	推奨
9.	ISBN(ISBN)の項目への検索では、「半角ハイフン」、「全角ハイフン」が検索語に含まれていてもいなくても検索に影響を与えないこと。	必須

#### 1.5. 性能要件

以下の要件を、性能要件とします。

No.	要件	条件
1.	応答レコードを要求しない探索サービス(Search)が発行され結果が返るまでの時間は 5 秒以内を目安に 10 秒以内とすること。	必須
2.	表示サービス(Present)において 500 件までのレコードの返戻時間は 60 秒以内とすること。	必須

#### 1.6. 補足

- ・ ポートは、通常 210 であるが、別ポートとすることは可とします(要連絡)。
- ・ XML 宣言は付与しないこと。



顧客名	岡山県立図書館様
システム名	平成 27 年度 岡山県立図書館総合システム デジタル岡山大百科
資料名	統一検索インターフェース仕様書
文書 ID	H27 デジ岡-外部連携-003
版数	1.1
日付	2016 年 2 月 25 日

## 目次

1	電文フォーマット.....	3
1.1	検索要求電文.....	3
1.2	検索応答電文.....	4
2	項目一覧.....	6
2.1	蔵書検索.....	6
2.1.1	検索条件(横断検索システム→蔵書検索システム).....	6
2.1.2	検索結果(蔵書検索システム→横断検索システム).....	14

## 改版履歴

版	改版日付	改版内容	備考
1.1	2016/2/25	システム更新に合わせ、1.1 版として改訂	

## 1 電文フォーマット

### 1.1 検索要求電文

指定されたキーワードを引数として、CGI（検索プログラム）を実行するための電文

No	項目	データ型	最大長	説明
1	METHOD	char	3	メソッド (REQUEST_METHOD) CGIにデータを渡すためのメソッドとして"GET"を指定
2	SEPARATOR	char	1	セパレータ メソッドとデータのセパレータとして ' ' (空白) を指定
3	CGI	char	1024	CGI名 統一検索IF用検索プログラム名 '/'から始まるパスを含んだCGI名を指定 例) /cgi-bin/search.cgi
4	QUERY_STRING	char	1024	検索文字列 '?'から始まるCGI用の検索文字列を指定 例) ?TITLE=NOBUNAGA

※CGI、QUERY\_STRING の記述方法は、URL の規則に従う

- 1) 検索条件は、「項目名 = 設定値」形式で指定する。

?TITLE=ODA

- 2) 項目が複数ある場合は、'&'を用いて条件を連結する。

?TITLE=TOKUGAWA&TITLE2=ODA&TITLE1W=AND

※注意：

QUERY\_STRING での設定値については、URL Encode を行ってから設定すること。

例) 書名に対するキーワードとして、“織田信長”を設定した場合。

```
GET?cgi-bin/search.cgi?TITLE=%BF%A5%C5%C4%BF%AE%C4%B9
```

## 1.2 検索応答電文

検索結果を要求元（横断検索システム）に送信するための電文

XML 形式で記述する。

NO	項目 (タグ)	データ型	説明
1	XML	char	XMLタグ versionは、"1.0"を指定 encodingは"EUC-JP"または"SHIFT-JIS"を指定 (例 1 を参照)
2	DOCTYPE	char	DOCTYPE宣言 DTDは外部実体での参照も可 (例 2 を参照)
3	BODY	char	XML文書実現値(XML文書の本体) 所定のタグを使用して、XML文書の本体を記述 (例 3 を参照)

例 1 : XML タグの例

```
<?xml version="1.0"encoding="EUC-JP"?>
```

例 2 : DOCTYPE 宣言の例

```
<!DOCTYPE address SYSTEM "address.dtd">
```

例 3 : XML 文書 (BODY 部) の例

```
<body>
<num>1</num>
<member>
  <name>名前</name>
  <sex>性別</sex>
  <age>年齢</age>
```

...

```
</member>
```

```
</body>
```

※補足：XML 文書は、妥当(valid)な文書でも、整形形式(well-formed)の文書でも良い。

ただし、DTD が外部実体の場合は、横断検索システム上に DTD ファイルを用意しておく必要がある。

例)

```
<?xmlversion="1.0"encoding="EUC-JP"?>
<!DOCTYPE.addressSYSTEM"address.dtd">
<body>
<num>2</num>
<member>
<name>名前 1 </name>
      <sex>性別 1 </sex>
<age>年齢 1 </age>
<addr>住所 1 </addr>
<tel>電話番号 1 </tel>
</member>
<member>
<name>名前 2 </name>
<sex>性別 2 </sex>
<age>年齢 2 </age>
<addr>住所 2 </addr>
<tel>電話番号 2 </tel>
</member>
</body>
```

## 2 項目一覧

横断検索システムから情報検索システムへ送信する検索条件と情報検索システムから横断検索システムへ送信すべき検索結果の各項目について述べる。

### 2.1 蔵書検索

#### 2.1.1 検索条件（横断検索システム→蔵書検索システム）

検索要求電文における「QUERY\_STRING」で使用する検索条件を指定するための項目について述べる。

##### (1) 項目一覧

No	項目	パラメータ	データ型	最大長	説明
1	項目別結合方法	CDCNTW	char	1	書名、著者名、出版社、件名、分類記号、出版年の各項目間での結合方法（※必須パラメータ） 1:AND結合 （全ての項目の条件を満たす） 2:OR結合 （何れかの項目の条件を一つでも満たす）
2	書名1	TITLE1	char	80	書名に対する検索キーワード1
3	書名2	TITLE2	char	80	書名に対する検索キーワード2
4	書名3	TITLE3	char	80	書名に対する検索キーワード3
5	書名検索方法1	TITL1H	char	1	キーワード1に対する検索方法 1:"を含む"書名で検索 2:"で始まる"書名で検索 3:"と一致する"書名で検索

6	書名検索方法 2	TITL2H	char	1	キーワード1 に対する検索方法 1:"を含む"書名で検索 2:"で始まる"書名で検索 3:"と一致する"書名で検索
7	書名検索方法 3	TITL3H	char	1	キーワード1 に対する検索方法 1:"を含む"書名で検索 2:"で始まる"書名で検索 3:"と一致する"書名で検索
8	書名結合方法 1	TITL1W	char	1	キーワード1 とキーワード2 の結合方法 1 : AND結合 キーワード1 と2 を含む書名で検索 2 : OR結合 キーワード1 または 2 を含む書名で検索
9	書名結合方法 2	TITL2W	char	1	キーワード2 とキーワード3 の結合方法 1 : AND結合 キーワード2 と3 を含む書名で検索 2 : OR結合 キーワード2 または 3 を含む書名で検索
1 0	著者名 1	AUTHE1	char	40	著者名に対する検索キーワード1
1 1	著者名 2	AUTHE2	char	40	著者名に対する検索キーワード2
1 2	著者名 3	AUTHE3	char	40	著者名に対する検索キーワード3
1 3	著者名検索方法 1	AUTH1H	char	1	キーワード1 に対する検索方法 1:"を含む"著者名で検索 2:"で始まる"著者名で検索 3:"と一致する"著者名で検索

1 4	著者名検索方法 2	AUTH2H	char	1	キーワード2 に対する検索方法 1:"を含む"著者名で検索 2:"で始まる"著者名で検索 3:"と一致する"著者名で検索
1 5	著者名検索方法 3	AUTH3H	char	1	キーワード3 に対する検索方法 1:"を含む"著者名で検索 2:"で始まる"著者名で検索 3:"と一致する"著者名で検索
1 6	著者名結合方法 1	AUTH1W	char	1	キーワード1 とキーワード 2 の結合方法 1 : AND結合 キーワード1 と2 を含む著作名で検索 2 : OR結合 キーワード1 または 2 を含む著作名で検索
1 7	著者名結合方法 2	AUTH2W	char	1	キーワード2 とキーワード3 の結合方法 1 : AND結合 キーワード2 と3 を含む著者名で検索 2 : OR結合 キーワード2 または 3 を含む著者名で検索
1 8	出版社	PUBLIS	char	40	出版社に対するキーワード
1 9	件名	IDVNAM	char	40	件名に対するキーワード
2 0	分類記号	CLSSIN	char	30	分類記号に対するキーワード
2 1	出版年 1	PUBYM1	char	4	出版年で検索するための西暦年



2 2	出版年 2	PUBYM2	char	4	出版年で検索するための西暦年
2 3	図書館コード	LIBCD	char	30	総合目録に対する図書館の識別子 ※要求する図書館数分繰り返す
2 4	I S B N	ISBN	char	30	ISBNに対するキーワード
2 5	資料区分	CLASSDOC	char	1	資料区分で検索するための資料区分コードによる 検索 ※要求する資料区分数分繰り返す。

## (2) 検索条件について

### ①検索条件の送信

必須項目である NO1 を除いた全ての項目については、利用者が指定した条件に該当する項目のみを送信し、指定されていない項目は省略する。

#### ※ 3. 1 検索要求電文を参照

たとえば、書名及び著者名の結合条件 (TITL?W,AUTH?W) は各項目が複数指定され、結合条件が必要となる場合にのみ送信されることとなる。

### ②蔵書検索システム側での未対応条件の破棄

書名、著者名、出版社、分類記号、出版年などの検索条件のうち、蔵書検索システム側で検索条件として入力を用意していない条件がある場合、その条件を破棄し、対応可能な条件のみで検索した結果を返却する。

たとえば、書名と出版年が指定された場合、出版年での検索をサポートしていなければ書名のみを使用して検索を行い、結果を返却することとなる。

ただし、未対応な条件のみで指定された場合は、検索エラー（検索条件が無効等）として異常を返却する。

### ③蔵書検索システム側での余剰条件の破棄

書名や業者名などの複数のキーワードが指定可能なものについては、蔵書検索システム側で受け取り可能な個数が満たない場合、余剰分を破棄する。

たとえば、書名について3つのキーワードが指定された場合、蔵書検索システム側の機能として2つまでサポートするのであれば3つめのキーワードを使用せず、2つのキーワードを使用して検索した結果を返却することとなる。

#### ④蔵書検索システム側での未対応機能の置換

蔵書検索システム側で未対応な機能については、指定された条件を破棄し、対応可能な検索方法に置き換える。

たとえば、書名に対する検索方法において、1の“～を含む”が選択された場合、書名に対する中間一致機能が必要となるが、蔵書検索システム側の機能が前方一致のみのサポートであれば、前方一致のみのサポートであれば、前方一致での検索を行い結果を返却することとなる。また同様に、出版年に関する範囲指定をサポートしていない場合は、出版年に対する条件を破棄するなど、既存の機能の範囲で対応を行うこととなる。

#### ⑤蔵書検索システム側での不足条件の補充

蔵書検索システム側での検索において、必須の条件があり、かつ、この統一検索 IF の検索項目に該当するものが存在しない場合は、検索プログラム側へ適切な値で補完する。たとえば、検索結果として返却する件数の上限を指定しなければいけない場合、統一検索 IF では全ての結果を必要とするので、上限の値として“全ての結果”に相当する値を指定されたものと仮定して動作するなどの対応が必要である。

#### ⑥総合目録に対する特定図書館の指定

総合目録を利用して蔵書情報を提供している図書館に対して、あたかも独立した蔵書検索システムが提供されているがごとく、個別に蔵書情報を提供できるようなインタフェースを設ける。

総合目録システムに検索を要求する際に図書館コードを指定し、特定の図書館のみに対する検索を行う。

使用する図書館コードは、総合目録システムの設定内容に従って使用する必要があるため導入時にその設定内容を横断検索システム側で入手する必要がある。

また、追加・変更等があった場合も適宜、内容を反映させる必要があることに注意。

横断検索システム側で必要となる情報としては「図書館名」とその図書館を指定するための「識別子」の組み合わせとなる。

### (3) 各項目に対する補足

#### ①"項目間の結合方法"(NO1)について

書名、著者名、出版社、件名、分類記号、出版年の各項目に関する条件（検査方法、結合方法を反映させた条件）を AND もしくは OR で結合する。

なお、この項目は必須とし、指定された検索条件が 1 つの項目に限られたもの（書名のみや著者名のみといった単独の指定）であっても必ず指定する

AND 結合：各項目に指定された全ての条件を満たす書誌を検索する

OR 結合：各項目に指定された条件を一つでも満たす書誌を検索する

#### ②"書名(NO2,3,4)及び"著者名"(NO10,11,12)について

書名及び著者名に対するキーワードは最大 3 つまで指定できるものとし、蔵書検索システム側で受取可能な個数が 3 つに満たない場合でも、そのまま送信する。

ただし、その場合は蔵書検索システム側でその余剰分を無視して構わない。

※「(2) 検索条件について」の 3 項を参照

なお、指定されたキーワードについては、URL Encode によって生成された文字列を送信する。

#### ③"書名検索方法"(NO5,6,7)および"著者名検索方法"(No13,14,15)について

書名及び著者名に対して、各設定値により蔵書検索システム側で以下のような検索を行う。

"を含む"の場合：書名及び著者名に対する中間一致検索

"で始まる"の場合：書名及び著者名に対する前方一致検索

"と一致する"の場合：書名及び著者名に対する完全一致検索

#### ④"書名結合方法"(NO8,9)及び"著者名結合方法"(NO15,16,17)について

書名および著者名に関してキーワードを 3 つ指定した場合の結合法則は、"AND,OR の優先順位に関係なく、指定順番どおりに結合"とする。

たとえば、書名 1 に A、書名 2 に B、書名 3 に C を指定し結合条件 1 に AND、結合条件 2 に OR を指定した場合は以下のように解釈することとなる。

(AANDR)ORC

つまり、必ず最初の 2 つを結合した結果に対して 3 つめの結合を行うこととなる。

## ⑤出版社(No18)、件名(No19)、分類番号(No20)に対する検索方法について

出版社、件名、分類番号の各項目は、蔵書検索システム上での機能に依存し、統一検索 IF としては特に定義しない。

## ⑥出版年(No21,22)に対する検索方法について

出版年については、範囲指定検索できるものとし、各項目に以下のような意味を持たせる。

出版年 1 : 指定した年以降に出版された本を対象とする→範囲指定検索 : 指定年以降

出版年 2 : 指定した年以前に出版された本を対象とする→範囲指定検索 : 指定年以前

たとえば、書名に何らかのキーワードを指定し、さらに出版年 1 に"1995"を指定した場合は指定された書名に該当する書誌のうち、1995年以降に出版された本を検索することとなる。

なお、出版年は必ず西暦（半角4桁）で使用する。

## ※補足

検索条件として、出版年のみ指定となった場合、該当する書誌が膨大な件数になることが予想されるため、基本的には単独で使用しないものとする。

書名、著者名、出版名、件名、分類記号のいずれかの項目を指定したうえで、付加的な条件として使用する。

## ⑦図書館コード (No23) について

総合目録システムに対して、特定の図書館の蔵書情報のみを検索するために、その対象となる図書館を表す識別子として、図書館コードを指定する。

単一の図書館だけを扱う蔵書検索システムの場合は、この図書館コードを指定する必要はない。

なお、総合目録システム内の複数の図書館を指定する場合は、必要な個数分、指定を繰り返す。

例えば、図書館コードが「0001」と「0002」で識別される図書館に検索を要求する場合は「...&LIBCD=0001&LIBCD=0002」と指定することとなる。

## ⑧ISBN (No24) に対する検索方法について

蔵書検索システムは、-(半角ハイフン)の有無に関わらず検索が可能とする。中間一致、前方一致、完全一致の条件については、蔵書検索システム上で機能に依存し、統一検索 IF としては特に定義しない。

## ⑨資料区分（No25）に対する検索方法について

資料区分については、資料区分コードを指定する。対応する資料区分は下記の通りとし、完全一致条件での検索とする。

資料区分コード	説明
0	図書
1	雑誌
2	A V

なお、蔵書検索システムの複数の資料区分を指定する場合は、必要な個数分、指定を繰り返す。

例えば、資料区分が「0」、「1」で蔵書検索システムに検索を要求する場合は、「…&CLASSDOC=0&CLASSDOC=1」と指定することとなる。

## (4) 実行例

以下の検索条件を使用した場合の検索要求文字列

書名に対して：“日本（を含む）”かつ“昔話（を含む）”

出版年に対して：1970年から1999年の間

## ①単一の図書館だけを扱う蔵書検索システムの場合

```
GET/cgi-bin/search.cgi?CDCNTW=1&TITLE1=%C6%FC%CB%DC&TITL1H=1
&TITLE2=%C0%CE%CF%C3&TITL2H=1&TITL1W=1&PUBYMI-1970&PUBYM2
=1999
```

## ②総合目録システムの場合

```
GET/cgi-bin/search.cgi?CDCNTW=1&TITLE1=%C6%FC%CB%DC&TITL1H=1
&TITLE2=%C0%CE%CF%C3&TITL2H=1&TITL1W=1&PUBYMI-1970&PUBYM2
=1999&LIBCD=0001
```

※"0001"という図書館コードで識別される図書館に対して検索（下線部参照）

## 2.1.2 検索結果（蔵書検索システム→横断検索システム）

検索応答電文における「BODY」で使用する検索結果を返却するための項目について述べる。

### （1）項目一覧

No	項目	タグ名	データ型	最大長	説明
1	BODY 開始	body	char	-	BODY開始タグ このBODY開始タグとBODY終了タグ (NO17)までの間に全ての検索結果を記述する。※開始タグのみ
2	ヒット件数	num	char	10	ヒット件数タグ <num>~</num>の間に該当したデータの個数を記述する ※INT_MAXまでを有効とする
3	メッセージ	msg	char	1024	メッセージタグ <msg>~</msg>の間にメッセージを記述する。
4	書誌情報開始	book	char	-	書誌情報開始タグ この書誌情報開始タグと書誌情報終了タグ(NO16)までの間に1誌 分の書誌情報を記述する ※開始タグのみ
5	書名	title	char	200	書名タグ <TITLE>~</TITLE>の間に「書名」「副書名」を結合して記述す る。
6	巻次	vol	char	400	巻次タグ <vol>~</vol>の間に「巻次」「各巻書名」「多巻書名巻次」「叢 書名」を結合して記述する。
7	著者名	auth	char	100	著者名タグ <auth>~</auth>の間に「著者名」を記述する。

8	出版社	pub	char	100	出版社タグ <pub>~</pub>の間に「出版社」を記述する。
9	出版年	date	char	20	出版年タグ <date>~</date>の間に「出版年」を記述する。
1 0	ISBN	isbn	char	13	ISBNタグ <isbn>~</isbn>の間に「ISBN」を記述する。
1 1	TRC	trc	char	12	TRCマーク番号タグ <trc>~</trc>の間に「マーク種別」が"JLA"である「マーク番号」を記述する
1 2	NPL	npl	char	12	日版マーク番号タグ <npt>~</npt>の間に「マーク種別」が"NPL"である「マーク番号」を記述する
1 3	JP	jp	char	12	JPマーク番号タグ <jp>~</JP>の間に「マーク種別」が"JP"である「マーク番号」を記述する
1 4	ランキング	rank	char	3	ヒットランキングタグ <rank>~</rank>の間に検索条件に対するヒット率を1～100(%)で記述する
1 5	図書館コード	libed	char	30	図書館コード <libed>~</libed>の間に図書館コードを記述する。 ※総合目録システムからの検索結果である場合のみ使用 該当する図書館数分繰り返す

1 6	URL	url	char	1024	詳細表示用URLタグ <url>~</url>の間に書誌の詳細情報を表示するためのURLを記述する このURLは蔵書検索システム上で書誌情報を詳細表示するためのURLで"http"からQUERY文字列までの完全なURLを記述する ※総合目録システムからの検索結果である場合、該当する図書館数分繰り返す
1 7	書誌情報終了	book	char	---	書誌情報終了タグ 書誌情報終了タグ(NO4)とこの書誌情報終了タグまでの間に1誌分の書誌情報を記述する ※終了タグのみ
1 8	BODY終了	body	char	---	BODY終了タグ BODY開始タグ(NO1)とこのBODY終了タグまでの間に全ての検索結果を記述する ※終了タグのみ

## (2) 書誌情報に関する補足

「項目一覧」に示した書誌情報は国立国会図書館が定義する書誌情報の内、以下の各項目に該当するものとする。

統一検索IFの項目名	書誌情報としての項目名	フィールド識別子	備考
書名	書名	251A	
	副書名	251B	
巻次	巻次	251D	
	各巻書名	291A	
	多巻書名巻次	291D	
	叢書名	280A	



著者名	著者名	251F	
出版社	出版社	270B(770B)	270Bがなければ770Bを使用
出版年	出版年月日	100A	10桁目から4桁（西暦年）を使用
ISBN	ISBN(ISSN)	010A	
TRC	TRCマーク番号	090B	090Aが"JLA"の場合
NPL	日版マーク番号	090B	090Aが"NPL"の場合
JP	JPマーク番号	090B	090Aが"JP"の場合

### (3) 検索結果について

#### ①該当データがない場合のタグ、データの省略

各項目において該当するデータが存在しない場合、タグ・データとも省略することが可能である。（タグのみでデータとしても良い）

ただし、“ヒット件数”（NO2）はいかなる場合も値が認定されるため例外とし省略不可とする。

#### ②正常時の検索結果（ヒット件数が1以上の場合）

正常に検索できた場合は“ヒット件数”に該当した書誌情報の件数を設定し、書誌情報開始(NO4)から“書誌情報終了”(NO16)までのタグおよびデータを設定する。

また該当する書誌情報が複数（2件以上）の場合は“書誌情報開始”から“書誌情報終了”までの項目を1セットとして件数分だけ繰り返し設定する。

※“書誌情報開始タグ”から“書誌情報終了タグ”までが1つの書誌情報に関する項目となるため、必ず両方のタグを含めて書誌情報を記述する。

#### ③該当する項目がない場合の応答（ヒット件数が0の場合）

該当する書誌情報が1件の無い場合は“ヒット件数”に0を設定し、書誌情報に関する項目（“書誌情報開始”から“書誌情報終了”まで）を省略する。

#### ④該当する書誌情報が多すぎた場合の応答

該当する書誌情報の件数が蔵書検索システム上でのヒット件数上限値（検索結果として要求元に返却可能な件数の上限）を超えた場合は“ヒット件数”にその件数を設定し、書誌情報に関する項目（“書誌情報開始”から“書誌情報終了”まで）を省略する。（該当する書誌情報がない場合と同様）

ただし、蔵書検索システム上でのヒット件数上限値及び上限の有無については蔵書検索システムの機能に依存する。したがって、検索結果の返却情報数に上限がない場合は、このケースを考慮する必要はない。

#### ⑤検索異常となった場合の応答

蔵書検索システム上の処理にて異常が発生した場合は“ヒット件数”に負の整数（- 1 以下）を設定し、書誌情報に関する項目（“書誌情報開始”から“書誌情報終了”まで）を省略する。

なお、エラー原因を表すメッセージが用意されている場合は“メッセージ”(NO3)に設定する。設定された内容は、横断検索システム上のログファイルに出力される。

#### ⑥検索結果（タグ）の書式について

各項目間（終了タグから次の項目の開始タグまでの間）には空白や改行コードを入れる必要はない。（入れてもエラーにはならないが、処理上は不要）

#### ⑦XML(HTML)のエスケープ文字列への変換

以下に示すタグ付けに使用する文字（いずれも半角の場合に限る）が、データの完全文字列内に存在した場合は以下のようにエスケープ文字列を変換する必要がある。

>（小なり）→%lt;

>（小なり）→&lt;

&（アンパサンド）→&amp;

”（二重引用符）→&quot;

#### ⑧総合目録システムにおける所蔵館情報

総合目録システムからの検索結果の場合、それぞれの書誌に対して、各所蔵館における詳細表示用の URL を表すため、図書館コードタグと URL タグと対としてその情報を記載する。

図書館コードタグの直後の URL タグに記載されている URL をその図書館における詳細表示用 URL とし、記載順序を固定する。

該当する図書館が複数ある場合は、URL タグの直後に次の所蔵館を表す図書館コードタグを記載し、該当する所蔵館数分だけ繰り返す。

なお、単一の図書館を扱う蔵書検索システムの場合は、図書館コードタグは省略し、その図書館での詳細情報を表示するための URL のみを記載することとなる。

## (4) 各項目に対する補足

## ①“ヒット件数”(NO2)について

ヒット件数の値は検索処理の状況を表し、以下のように設定する。

1以上：検索正常終了（該当する書誌情報あり）

0：検索正常終了（該当する書誌情報なし）

-1以下：検索異常終了

なお、該当する書誌情報の件数として、ヒット件数に設定可能な値は使用するOSにおける整数の最大値（INT\_MAX：一般的には $(2^{32})/2=2147483647$ ）までを上限とする。それを超えた値が設定された場合はシステムエラー（内部処理異常）として処理する。

## ②“メッセージ”(NO3)について

この項目に設定された値（文字列）は書誌情報とは関係なく、検索状況の判別にも使用しない。ただし、蔵書検索システムでの検索異常の原因としてログファイルに出力されるため、原因調査の観点から異常時には設定した方が良い。

## ③“書名”(NO5)について

ここでの書名は蔵書検索システム上での「書名」及び「副書名」を結合したものとする。

書式統一のため、結合する際に「書名」と「副書名」のセパレータとして全角スペースを入れることとするが、蔵書検索システムの機能として不可能な場合は、その限りではない。

（ただし、横断検索システム側で同定処理を行う場合、結合後の文字列をそのまま使用するため書式が統一されていない場合、実際には同一の書誌であっても同定されない可能性があることに注意。）

## ④“巻次”(NO6)について

ここでの巻次は蔵書検索システム上での「巻次」「各巻書名」「多巻書名巻次」および「叢書名」を結合したものとする。書式統一のため、結合する際に「巻次」「各巻書名」「多巻書名」及び「副書名」のそれぞれのセパレータとして全角スペースを入れることとするが、蔵書検索システムの機能として不可能な場合はその限りではない。

（ただし、横断検索システム側で同定処理を行う場合、結合後の文字列をそのまま使用するため書式が統一されていない場合、実際には同一の書誌であっても同定されない可能性があることに注意）

## ⑤“出版年”(NO9)について

出版年については検索条件での出版年と同様、西暦（半角数字 4 桁）を使用する。

ただし、蔵書検索システム側で保持している出版年が西暦（半角数字 4 桁）以外でかつ西暦（半角数字 4 桁）に変換することが不可能な場合はその限りではない。

（ただし、横断検索システム側で同定処理を行う場合、取得した文字列をそのまま使用するため所定の書式と異なる場合、実際には同一の書誌であっても同定されない可能性があることに注意）

## ⑥“ヒットランキング”（NO14）について

ヒットランキングには検索条件に対してどれだけ一致しているか、その割合を設定する。

ただし、蔵書検索システムの機能として該当する機能がない場合には省略しても構わない。

## ⑦“図書館コード”(NO15)について

総合目録システムに対する検索においてのみ使用する。

図書館コードの直後に記載された URL がその所蔵館における詳細表示用の URL である。

ここで設定される図書館コードは検索要求時に使用される図書館コードと同一のものとする。該当する所蔵館が 1 つであっても必ず設定するものとし、省略されたり、URL タグとの順序に間違いがあった場合、画面に表示される検索結果が不正になるため注意が必要である。

## ⑧"URL"(NO16)について

その書誌情報に関して、蔵書検索システムの情報表示画面で詳細表示するための URL を設定する。

実際にはその詳細表示画面へのハイパーリンクを用意するために使用されるため「http://」から始まる完全な URL を設定する必要がある。

また、総合目録システムに対する検索の場合、図書館コードを 1 対で記載し、直前の図書館コードで表される所蔵館用の URL を設定する。

なお、蔵書検索システムの機能として詳細表示機能がない場合及び何らかの理由で詳細表示が出来ない場合はタグのみを記載し、設定値を省略しても構わない。

## (5) 実行例

該当した書誌情報が2件あった場合の検索応答電文

※見易さのために項目間に空白及び改行コードを入れているが、実際の電文中では不要

(「(3) 検索結果について」の6項を参照)

## ①単一の図書館だけを扱う蔵書検索システムの場合

```
<?xmlversion="1.0"encoding="EUC-JP"?>
<!DOCTYPEzousyoSYSTEM"zousyo.dtd">
<body>
<num>2</num>
<msg></msg>
<book>
<title>日本昔話</title>
<vol>第一巻</vol>
<auth>昔話保存会</auth>
<pub>●●出版</pub>
<date>1998</date>
<isbn>1-234-56789-0</isbn>
<trc>1111111111</trc>
<jp>2222222222</jp>
<url>http://www.xxx.zz.jp/cgi-bin/list.cgi?code=aabbcc1</url>
</book>
<book>
<title>日本昔話</title>
<vol>第二巻</vol>
<auth>昔話保存会</auth>
<pub>●●出版</pub>
<date>1999</date>
```

```
<isbn>9-876-543219-0</isbn>  
<trc>99999999999</trc>  
<npl>88888888888</npl>  
<url>http://www.xxx.zz.jp/cgi-bin/list.cgi?code=aabbcc2</url>  
</book>  
</body>
```

## ②総合目録システムの場合

```
<?xmlversion="1.0"encoding="EUC-JP"?>
<!DOCTYPEzousyoSYSTEM"zousyo.dtd">
<body>
<num>2</num>
<msg></msg>
<book>
<title>日本昔話</title>
<vol>第一巻</vol>
<auth>昔話保存会</auth>
<pub>●●出版</pub>
<date>1998</date>
<isbn>1-234-56789-0</isbn>
<trc>1111111111</trc>
<npl>2222222222</npl>
<libed>0001</libed>
<url>http://www.xxx.zz.jp/cgi-bin/list.cgi?code=aabbcc1&libid=0001</url>
<lined>0002</libed>
<url>http://www.xxx.zz.jp/cgi-bin/list.cgi?code=aabbcc1&libid=0002</url>
</book>
<book>
<title>日本昔話</title>
<vol>第二巻</vol>
<auth>昔話保存会</auth>
<pub>●●出版</pub>
<date>1999</date>
<isbn>9-876-543219-0</isbn>
<trc>9999999999</trc>
<npl>8888888888</npl>
```

```
<libed>0002</libed>  
<url>http://www.xxx.zz.jp/cgi-bin/list.cgi?code=aabbcc2&libid=0002</url>  
</book>  
</body>
```



## デジタル岡山大百科 横断検索システム 統一検索インタフェース 検索条件パラメータ

横断検索画面から検索した際に使用するパラメータのみ記載しています。

項目別結合方法（cdcntw）は常にシステムで自動付与されますが、それ以外のパラメータは対象となる検索項目の検索キーワードが設定された場合のみ付与されます。

検索項目		パラメータ名	値
項目別結合方法		cdcntw	1 ※システムで自動付与
書名	書名 1	title1	
	書名 1 : 検索方法	titl1h	1 : を含む、2 : で始まる、3 : と一致する
	書名結合方法	titl1w	1 : かつ、2 : または
	書名 2	title2	
	書名 2 : 検索方法	titl2h	1 : を含む、2 : で始まる、3 : と一致する
著者	著者 1	authe1	
	著者結合方法	auth1w	1 : かつ、2 : または
	著者 2	authe2	
出版者		publis	
出版年	開始年	pubym1	
	終了年	pubym2	
ISBN ※		isbn	
件名		idvnam	
資料区分 ※		classdoc	0 : 図書、1 : 雑誌、2 : 視聴覚資料
NDC 分類		clssin	

※横断検索画面では非表示

実行例 （実際のパラメータ値は URL エンコードされたもの）

(ア) 書名「日本」で始まる・かつ「昔話」を含む、出版者「福音館」、ISBN「978-4-8340-8219-7」、資料区分「図書」「視聴覚資料」

```
cdcntw=1&title1=日本&titl1h=2&titl1w=1&title2=昔話&titl2h=1&publis=福音館&isbn=978-4-8340-8219-7&classdoc=0&classdoc=2
```

(イ) 書名「ぐりとぐら」を含む・または「とらお」を含む、著者「なかがわ」・かつ「りえこ」

```
cdcntw=1&title1=ぐりとぐら&titl1h=1&titl1w=2&title2=とらお&titl2h=1&authe1=なかがわ&auth1w=1&authe2=りえこ
```